

2013

秋号

回覧用

ナース情報ステーション石川

会報誌

頑張るナースの声 届けます

- 【訪問看護師】辻原美幸さん(能美市立病院)
- 【介護支援専門員】北野美雪さん(木島病院 きじま在宅介護センター)
- 【若手看護師】木澤美里さん(公立穴水総合病院)
- 【施設看護職】木野沙紀さん(金沢こども医療福祉センター)
- 【施設看護職】谷口友和さん(老健ホームいしかわ)
- 【感染対策チーム】北信代さん(公立羽咋病院)

セミナーの模様

11月以降のセミナースケジュール



頑張るナースの声 届けます

ナース情報ステーション石川では、ホームページやメールマガジンなどを通して石川県で頑張っているナースの声を届けています。

今回の会報誌では今年7月から10月までの間に取材した内容の一部を抜粋し、掲載しました。より詳しいインタビューの内容は、ナース情報ステーション石川のホームページをご覧ください。



看護歴15年目のステップアップ



訪問看護師

能美市立病院 辻原美幸さん (写真右)

訪問看護では患者様の立場を尊重したケアを提供しています。カンファレンスで得た情報を理解した上で一軒一軒訪ねています。重要なことは自分がどのように患者様のことを受け止めたか。そこから、患者様の何を大事にしなければいけないかが分かってくるのです。

今まではパートタイムで働いていましたが、さらなるステップアップを目指し、訪問看護歴15年目の今年からフルタイムで働いています。カンファレンスにも参加して患者様の情報

も十分に把握できるようになってきました。少しずつですが仕事に対しての責任ややりがいが増えていきました。病棟と訪問看護での提供する看護技術に差が出ないように、病棟訪問をして情報収集をしたり、研修会に参加したりと、自己研鑽するように努力しています。

訪問先では、帰り際に「来てくれてありがとう」と声を掛けていただくと、本当にうれしいものです。これからも患者様やご家族のために、看護力を高め頑張っていこうと思います。



職種間の連携で地域の健康を支える

私たちケアマネージャーは、一人ひとりの生活スタイルに合わせた居宅サービス計画を立てています。サービスの中でも通所リハビリ(デイケア)と訪問リハビリのニーズは高く、専門のOT(作業療法士)やPT(理学療法士)が家事や寝起きなど、生活に必要な動きを取り戻すことに重点を置いています。

ケアの最中は専門用語を使わないように意識しています。利用者さんと私たちが、なるべく同じ目線で考えようという雰囲気をつくることは大事です。中には、「毎日でもデイ

ケアに行きたい」と話してくれる方がいます。地域の皆さんの喜びや生活を支えていることが、私たちの原動力となっています。リハビリを受けていると、きっと辛い時期もあるでしょう。それを乗り越える過程で利用者さんと心通わせる場面に出会うと、この仕事の楽しさを感じます。

これからも、利用者さんがどのような生活をしたいか、そのためには何が足りないのかを考え、充実した人生を送ることができるように支援したいです。



介護支援専門員

木島病院 きじま在宅介護センター(金沢市)
北野美雪さん (写真右)



家庭的な職場でやさしいケアを



若手看護師

公立穴水総合病院 木澤美里さん (写真左)

ナースになったのは、准看護師として介護施設で働く母親の存在が大きかったですね。高校生の時に看護と介護で進路を迷った時も、母のアドバイスで道が開けたような気がします。

この病院の良さはアットホームなところでしょう。年齢のせいか、患者さんから「孫みたいや」とよく声を掛けていただけます。職場ではありますが、家の中で身内と接しているような、どこかリラックスした雰囲気でケアを提供できています。

学生時代に先生からは「感謝されると本当にうれしくなるよ」とよく言われてきました。私は最初、この言葉を素直に信じられなかった。「本当かな。もし言われても、その言葉に見合った働きはできていないだろうな」と、どこか半信半疑でした。しかし、実際にナースになって、ケアを担当していた患者さんが回復された時に「あなたのおかげや、ありがとう」と言われた時、先生の言葉の意味が初めて理解できました。共に時間を過ごした中でいただいた言葉は、本当に心にしみますね。

子どもの成長にやりがい



施設看護職

金沢こども医療福祉センター 木野沙紀さん

センターの肢体不自由児病棟で、小学生と中学生の2人を受け持っています。この病棟では18歳になると卒業、すなわち退園する決まりとなっています。自宅に戻る子もいれば、別の施設へ移る子や大学へ進む子、会社で働き始める子もいます。ですから、入園中にどこまで自立できるか、個人の目標を定めて努力することは、その子の人生を左右すると言っても過言ではありません。

一人で外出できる子に対しては、卒業までにどんどん外に出てもらって、社会と関わりを持ってもらうようにしています。一方、生活全般に介助が必要な子の場合は、日々の生活の中で楽しみを見つけることはもちろん、「お願いします」「ありがとうございます」など、基本的な挨拶や他人への意思表示ができるようになることも大切と考え、看護をしています。

卒業後の生活を見越したケアが求められるため、できないことを全てナースが手伝うわけではありません。できることとできないことを見極めることも大事なのです。



施設看護職

老健ホームいしかわ(金沢市) 谷口友和さん

家庭的な雰囲気大切にしている当施設では、病院と比べナースの人数より介護職員の人数の方が多いです。利用者さんの健康管理という根本的な役割は変わりませんが、以前勤務していた病院との違いに戸惑いました。とくにコミュニケーションには苦労しましたね。こちら側が何とかしようという姿勢ではなく、利用者さんがどう思っているか、看護をする上で相手の気持ちをより尊重するようになりました。

そのためにも普段から会話を大切にしています。こういう時に体がひどいとか、かゆくて辛いとか、ケアのヒントを引き出すためにどんどん聞き出します。自分の状態以外にも、家族のことで日頃の愚痴でも、とにかく一緒にしゃべりをする。話すことで、気持ちが楽になることも結構あると思います。

利用者の方は、なかなか自宅に帰ることができず、複雑な気持ちを抱えています。それでも、この施設にいる限りは快適に過ごしてほしいです。どうすれば満足してもらえるか、これからも考え続けたいですね。

ケアはまず聞くことから

感染対策への意識を高める

感染対策チームの一員として、院内でさまざまな活動に取り組んでいます。医師やナース、事務職員ら他職種の人たちで構成されているこのチームの発足は約10年前で、私も初期メンバーとしてずっと携わってきました。

現在は週1回、メンバーとともに全病棟を巡回しながら、ガウンやマスク、手袋を着用する順番や消毒薬の濃度などを確認、指導しています。普段からベッドサイドで患者さんのリハビリを担当している理学療法士ら、他職種からも感染に関する指導を依頼されることもあります。最近では、当院スタッフの感染対策への意識の高さを実感できるようになりました。巡回中に質問を受けると、みんな地道な活動を続けてきて良かったなと思います。

当院は病院長をはじめ、総看護師長ら皆さん感染対策には大変理解があり、設備の改善に協力していただき、大変感謝しています。これからも経験を積み、実践看護学講座を通して知識と技術を高め、患者さんや職員を感染から守りたいですね。



感染対策チーム

公立羽咋病院 北信代さん(写真右から3人目)

石川県からのお知らせ

ナース情報ステーション石川
石川ナースナビってご存知ですか?

「石川ナースナビ」は、石川県が運営する看護職専用の施設検索・無料求人紹介のための情報提供サービスサイトです。

■ 求人情報に加え、お役立ち情報も充実!

就業ガイド

資格、キャリアアップから働き方までを徹底解説!

ナースの心得

デキるナースになるためのヒントがたくさん。

医療技術情報

現場で使える医療情報をご紹介します。

WEBマガジン「ナースな日常」

4コママンガで読むナースの日常。

■ まずはサイトから登録ください。

石川ナースナビ

検索

<http://ishikawa-nursenavi.com>

セミナーの様相

第4回
セミナー
9/26

看護技術(注射・採血・点滴)を確認しよう!

ナース情報ステーション石川の第4回セミナー「看護技術(注射・採血・点滴)を確認しよう!」は9月26日(木)、石川県立中央病院で開催されました。現役や未就業のナース11人が参加し、講義や演習を通して、注射や採血の安全な手順や器具の取扱いなどを学びました。石川県立中央病院のナースが講師を務め、技術面の指導以外に、消毒の徹底など安全面についても強調しました。参加者はみな、実際に採血をすることを想定しながら、真剣な表情で取り組んでいました。



第5回
セミナー
10/17

看護技術(酸素投与・薬物投与・吸痰)を確認しよう!

第5回セミナー「看護技術(酸素投与・薬物投与・吸痰)を確認しよう!」は10月17日(木)、石川県済生会金沢病院で開催されました。吸痰模型を用いた演習では、皮膚・排泄の認定看護師らが講師を務め、参加者12人は最初の消毒や医療機器確認から、終了後に使用した手袋やマスクなどを外すまで、一つひとつの動作について正しい手順を確認しました。このほか、点滴や採血に使用している医療器具を紹介しながら、安全に取り扱うことと、感染対策の大切さが指導されました。



11月以降のセミナースケジュール

看護技術の確認や電子カルテの扱い方から再就業者との交流会まで、さまざまな内容のセミナーを予定しています。

	セミナー	内容	開催日程
看護の基本技術シリーズ	看護記録 必要な記録を確認しよう! ②	●電子カルテや看護記録など現場で活用される日々の記録・必要な記録のポイントを確認 【座学・見学】	11月14日 済生会金沢病院
医療安全の知識シリーズ	看護技術 感染予防・安全対策を確認しよう!	●感染予防技術を見学し、安全手順・観察ポイントを確認【見学】	1月

※日時や場所など、詳細が決まり次第、ナース情報ステーション石川のメールマガジンなどでお伝えします。

※セミナーの参加にはメール会員登録が必要です。(参加申込み時の登録も可能です)

石川県は3事業で看護職員を応援しています

<p>(公社)石川県看護協会 (ナースバンク)</p> <p>あなたに合う職場を紹介します</p> <p>看護職員向けサービス</p> <ul style="list-style-type: none"> ●求職者の相談と職業紹介 ●看護師を志す方の進学相談 ●キャリアアップサポート ●職場の悩み相談 ●就職情報相談会 <p>施設向けサービス</p> <ul style="list-style-type: none"> ●求人受付 ●看護師の紹介 <p>TEL. 076-225-7771</p>	<p>ナース情報ステーション石川</p> <p>頑張るナースの声を届けます</p> <p>看護職員向けサービス</p> <ul style="list-style-type: none"> ●看護技術の確認、スキルアップサポート ●各種セミナーの開催 ●メールマガジン配信 ●各種情報提供 <p>施設向けサービス</p> <ul style="list-style-type: none"> ●ポータルサイトの提供(施設概要・求人) <p>※連絡先は下記をご覧ください。</p>	<p>株式会社 人材情報センター</p> <p>研修・就職情報はお任せください</p> <p>看護職員向けサービス</p> <ul style="list-style-type: none"> ●看護師の就業相談受付 ●研修受入施設の紹介 ●研修の実施と就業までのサポート <p>施設向けサービス</p> <ul style="list-style-type: none"> ●研修希望看護師の紹介 <p>TEL. 076-263-6663</p>
---	---	--

ナース情報ステーション石川

石川県が行う
看護師支援
事業です。

〒920-8201 石川県金沢市鞍月東2丁目1番地(石川県立総合看護専門学校2階)
TEL: 076-238-5802
不在時の問い合わせは、TEL: 076-225-1431(石川県健康福祉部医療対策課)まで
FAX: 076-225-1434 Mail: nurse-js@pref.ishikawa.lg.jp
URL: http://www.nurse-ishikawa.com
(訪問は要予約)